

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0408	曜日時間	
授業科目	栄 養 学						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	栄養代謝機能、消化・吸収機能として、外界から取り入れる物質である栄養を摂取することの目的と意義を理解し、生活を調整するための食事療法の基本について学ぶ。						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康な生命活動を営むための「食べる」生活行動として、栄養の基礎知識を学ぶ。</li> <li>2. 日常生活行動のエネルギー源とした食事について、栄養評価の方法を学ぶ。</li> <li>3. 栄養代謝機能障害として、社会生活やライフスタイルの変化に伴う新たな栄養問題を考える。</li> <li>4. 食事療法の意味を学び、看護の役割を理解できる。</li> </ol>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間栄養学と看護 栄養学の歴史、保健と栄養、食事療法と変遷</li> <li>2. 栄養状態の評価・判定 栄養評価の定義と目的、栄養状態の評価と判定法</li> <li>3. 栄養素の種類とはたらき 糖質、脂質、タンパク質、ビタミンADEKB・ナイアシン・パントテン酸、ミネラル、食物繊維、水</li> <li>4. エネルギー代謝 食品エネルギー、体内のエネルギー、エネルギー代謝の測定、エネルギー消費</li> <li>5. 栄養素の消化・吸収 栄養の消化（機械的消化と化学的消化、消化器系のはたらき）、栄養素の体内運搬</li> <li>6. 栄養素の体内代謝 肝臓のはたらき、血糖、血漿脂質、血漿のアミノ酸とタンパク質、核酸代謝、ポルフィリン代謝、代謝の調節と排泄</li> <li>7. 栄養ケア・マネジメント 栄養スクリーニング、栄養のアセスメントと援助計画</li> <li>8. ライフステージと栄養 乳児期、幼児期、学童期、思春期と青年期、成人期、妊娠期、授乳期、更年期、高齢期の栄養と特徴</li> <li>9. 臨床栄養（病院食、疾患別治療食、栄養補給法）</li> <li>10. 健康づくりと食品・食事・食生活食文化</li> </ol>	講義	30			
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト 参考図書	中村 丁次他著：栄養学，医学書院 中村 丁次他著：栄養食事療法，医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備考							